

情報化施工用建設機械及び測量機器の最新技術情報

| 会社名 | 建機／測量機器の区分 (掲載年月日) | 技術情報対象の機械・機器名 | 技術情報等の内容 |
|--------------|-----------------------|-------------------------------------|---|
| コマツレンタル道東(株) | 重機搭載測量機器 | ブルドーザ 3D-MC 自動ブレード制御マシンコントロール | <p>名称 : コマツD61PXi-23型 NETIS登録技術(登録中) 内容 : 自動ブレードコントロール (粗掘削から仕上整地作業) 特徴 自動ブレード制御 (粗掘削から仕上整地作業まで) 粗掘削時にブレード負荷が増大すると、シュースリップが起らないように自動でブレードを上げて負荷をコントロールし、効率良く掘削作業が行えます。 さらに、事前に設定した設計面に近づくと自動認識して、粗掘削から仕上げ整地に自動的に切り換わります。 新技術 ①コマツの最先端技術ストロークセンシングアングルシリンダにより、ブレードアングル角度を変更して施工しても正確に計測出来る為、複雑な設計や法面での掘削・整地施工が可能に成りました。 ②従来MCドーザのように、ブレード上方にあったポールとGNSSアンテナをキャブーフ上に移動することにより運転視界も良く、破損や盗難リスクの軽減。 ③GNSSアンテナをキャブ上部に設置したことで、オペレータが履帯通過面をモニターで正確に確認することができるため、施工の進捗状況がリアルタイムにマッピングで確認でき、施工の向上が期待できます。 適用工事 道路工事・河川工事・ほ場工事での粗掘削・仕上整地施工 価格 1ヶ月レンタル/250万円～ *新技術①について 従来のブルドーザではブレード上にGNSSアンテナが2個必要。</p> |

INTELLIGENT MACHINE CONTROL SYSTEM

GNSS受信機
GNSSアンテナ
コントロールボックス
ICTセンサコントローラ
ストロークセンサ付きシリンダ
高精度慣性センサ(IMU+)

ストロークセンシングアングルシリンダ
ストロークセンシングチルトシリンダ
ストロークセンシングリフトシリンダ
回転性の高いストロークセンシングシリンダを採用し、高い整地性を実現。

1. ブレード負荷が増大すると
2. シュースリップが起らないように自動でブレードを上げ、負荷をコントロールします。
3. 常に抱えられる最大の土量で効率よく施工できます。

GNSSアンテナ
履帯が接している地表面の高さ

上記に関する問い合わせは、コマツレンタル道東(株)/ICT技術開発室 電話(0155)38-8800 FAX(0155)37-3900
 担当: 鈴木 e-mail: akira_suzuki@dbdtu.komatsu.co.jp